

発行者

NPO法人どんまい

〒791-0113

松山市白水台1丁目6-4

090-4788-9801

どんまい便り

《第4号》

2008年5月

ご挨拶

理事長 谷本圭吾

あっという間に桜の季節が過ぎ、汗ばむ季節になってまいりました。

どんまいの活動もおかげさまで3年目を迎えることができました。これも応援して下さる社員、賛助会員の方々のご協力のおかげと感謝しております。また各医療機関、関係機関の方々のご協力なしでは当法人の活動は成り立たないことはいうまでもありません。

H19年度は新事業として、4月からケアホーム2施設（こだち・いずみ）、小規模作業所（ゆっくりクラブ）7月からまんてん企画をスタートしましたが、地域に根ざした地道な活動を続けています。

どんまいクラブは3月に本町のビル1Fに移転しました。と同時に法人事務所を設置したことで、スタッフが一堂に会して仕事ができるようになり、スタッフ間のコミュニケーションが取れるようになり、組織としての活動がスムーズにできるようになりました。どんまいクラブの店舗部のへんな古本屋は、残念ながら3月で閉鎖しましたが、6月より、本町のどんまいクラブにエコ商品、イラスト関連商品、かわいい小物などを展示・販売する新しいアンテナショップ“あとりえ de まいんど”を開店する予定です。ぜひお越しになってください。

さらに今年度は、同ビルの2・3・4Fに新ケアホームを3施設増設する予定で、現在準備を着々と進めています。しかし国の手続きが順調に進まないため、整備事業の内容がまとまらず当初の予定が大幅に遅れています。いまのところ4F（定員6名）が9月ごろ、2F（5名）・3F（6名）も年内にはスタートできることになると思います。

県、市の退院促進事業も今年度は本格的に動き出しています。当法人もその一翼を担い、精神に障害を持つ人たちが安心して地域で生活し、自分らしい生き方を見つけられることを応援し続ける所存です。次から次に難題が襲いかかってきますが、負けずに頑張ります。

本年度も、NPO法人どんまい一同を引き続き応援してください。よろしくお願いいたします。

@ どんまいリニューアル情報

♪ どんまいクラブが引っ越しました ♪

松山市宮西にありましたどんまいクラブが、2月20日に引っ越しました！場所は本町6丁目のビルの1階で、本町6丁目電停、バス停は目の前という便利なところで、以前よりも賑やかな場所です。

今後、2～4Fにはケアホームを新たに3施設開設する予定です。

法人事務所も併設し、スタッフ全員で集まって仕事ができる快適な空間ができました。

6月には“あとりえ de まいんど”が開店します。ぜひお越しください！
新しくなったどんまいクラブについて、メンバーさんにいろいろ聞いちゃいました！！

① 引っ越しをしてみて良かった点は？またしんどい点は？

- 各班の作業が良く見えるため、とっさの時ヘルプに回れる。
- 作業所が前より近くなった。また広くなった。新しい環境に慣れないため、少し疲れる。
- 前の作業所より距離が長くなりましたが、運動になってよいと思います。
- 少し遠くなり、歩く道が長くなりました。
- 建物がきれいになり、部屋も広くなって良かった。汚さないように気をつけないといけないことが心配。

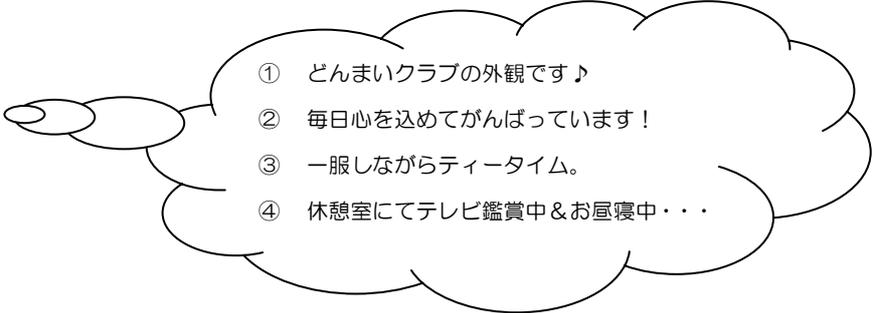
② 近所にあるおすすめのお店は？

- 丁字村(食堂&お弁当屋)←かなり多くの方が挙げられました！！
- フジ本町店(100円均一ショップ等があり便利だから。)
- 日和(お好み焼屋さん、日替わり定食が安くておいしい)

③ これからの意気込みは？

- 作業時間が早くなったり、いろいろと変わった部分もありますが、体調を整えてがんばっていこうと思います。
- どんどんハガキを作りたいです。
- 1日1日を大切にしたい。
- これからも頑張っていきたい。それと自分自身を変えていきたい。
- 現在のペースを守りたい

様々な思いを抱えて、皆さん頑張っています。新しくなったどんまいクラブへ、ぜひおこしください。メンバー・スタッフ一同、心よりお待ちしております。

- 
- ① どんまいクラブの外観です♪
 - ② 毎日心を込めてがんばっています！
 - ③ 一服しながらティータイム。
 - ④ 休憩室にてテレビ鑑賞中&お昼寝中・・・



ゆっくりクラブも広くなりました！！

ゆっくりクラブの方は去年度の4月にスタートし、少ない人数で細々とやっていたのですが、人数がひとり、ふたりと増え、部屋がパンク状態になりました。このままでは、非常にやりにくいとの声があがり、検討した結果、隣の部屋を新たにお借りし、2Fの170ア全部がゆっくりクラブになりました！新ゆっくりクラブのメンバーさんの声を是非お聞きください！

① 引越して見て良かった点は？また逆にしんどい点は？

- 動きやすい。人にぶつからなくなくなった。広いから冬はちょっと寒そうで心配。
- スペースが広くなり、機動性が向上した。窓の数が多いので明るく感じるのがいいです。
- 広くなって良かったが、トイレが遠くなったのがショック。
- 禁煙室になったので気持ちいい！だけど掃除が倍になった。

② 近所にあるお勧めの店は？

- 1階にあるモルゲンのレストラン！ハンバーグがすごく美味しかった！！（協力してくれている大家さんのお店です！）
- フジグランのミョンドン屋（韓国料理がウマー）
- 土地勘なし。困った。

③ これからの意気込みは？

- 社会に出る為に色々出来るようになりたい。恐怖心を克服するぞ！！
- 休まないようにします！
- 作業を毎日頑張っけてしていきたい。
- いろんな作業、活動をしていきたい（遊びも含めて）

ほとんどの人が広がってよかったという意見でした。今まで人数が増え、普通に作業しているだけでも、息苦しかったと思います。本当に広がって良かった。

近所のお店は、フジグランとモルゲンのレストランに真二つ。フジグランはなんでもあるから便利便利という意見と、モルゲンのレストランはとにかく美味しい！安くて美味しいから是非食べてみて下さい！といったお勧め具合。

これからの意気込みは、休まずに自分のペースで作業していきたいや毎日来れるようになりたい、漠然とした意気込みではなく身近な目標、意気込みが多かったです。ゆっくりクラブだけにゆっくり、自分のペースでという事です！



- ① 新ゆっくりクラブ、広がって作業もしやすい！！
- ② 以前の作業室、人が多くてパンク状態！！
- ③ 最近参加した、バザー。作業しやすくなってやる気も出、バザーでは完売！！

@どんまい商品紹介



A3版カレンダー



卓上カレンダー

昨年度はどんまいクラブほのぼののカレンダー・エコハガキをご購入、ご愛顧頂きまして、誠にありがとうございました。昨年度の「うさぎとかめ」「くじらのいる風景」のほのぼののカレンダーはいかがだったでしょうか？毎月めくるのが楽しみになるようなカレンダーに仕上がっていると自負している次第であります。

ほのぼののカレンダーをはじめとするこれらの商品は、精神障害者が地域で自分らしく暮らしたいという思いを込めて製作いたしました。このような私たちの思いが、皆様に伝わっていれば、これ以上うれしいことはありません。今年度も昨年度以上に良いものを作っていけるように、メンバー・スタッフが丸となって頑張っ
てまいりますので、これからもどんまいクラブをよろしくお願い致します。

アンケート報告

2008年度版ほのぼののカレンダーをご購入頂きまして 本当にありがとうございます。売り上げ部数と致しましては、企業の方には約1100部、また一般の皆様には、約1900部、合計では約3000部という、嬉しい悲鳴が上がるほどの成果でした！

本当にたくさんの方にほのぼののカレンダーをご愛顧頂いていることを、心から嬉しく思います。来年度もカレンダーを作成予定ですが、皆様のご期待に添えるような商品開発をする為に、ご購入頂いた皆様にアンケートにお答え頂きました。多岐に渡りご返答頂きましたので、抜粋して回答を掲載させていただきます。

◎ カレンダーのご購入のなったきっかけはなんですか？

- ・ 知り合いや理事長からの紹介で。
- ・ ほのぼのとしたイラストが気に入ったから。
- ・ 一昨年のカレンダーが好評で、職員・入居者の方より購入の希望があったため。
- ・ どんまいの活動目的に共感しているから。

◎ 価格はいかがだったでしょうか？

・ 高い 12% ・ 安い 0% ・ ちょうどよい 88%

◎ カレンダーのデザインについてどう思われますか？

- ・ 可愛らしくて非常に良い。(多くのご意見を頂きました。)
- ・ やさしい色使いとほのぼのとしたイラストに癒される。
- ・ 1枚1枚紙の色や素材が異なり、味わいがあり、温かい印象を受けた。
- ・ デザインがシンプルでいい。

◎ 配布されたお客様の反応はいかがだったでしょうか？

- ・ 可愛いと、大変好評だった。(非常に多くのご意見を頂きました。)

- ・ 好評で、追加注文やどこで売っているのかなどの質問があった。
- ・ 気に入られ、全種類購入される方もいた。
- ・ 子どもいる方や女性の方は、特に興味津々だった。

◎ 実際に使ってみて、又は購入してみたの不便な点、ご要望があればお願いします。

- ・ 六曜（大安や友引など）を入れてほしい。
- ・ 前月・翌月のカレンダーが小さくあれば嬉しい。
- ・ 卓上のカレンダーは、予定等を書き込めるように、もう少し広い余白のスペースがほしい。
- ・ 卓上カレンダーを片面印刷にしてほしい。
- ・ 卓上カレンダーは出し入れがしづらい。

皆様、貴重なご意見を、本当にありがとうございました。この結果を元に、来年度はご期待以上の商品を作成できるよう、より一層の努力をして参ります。乞うご期待くださいませ！！

あとりえ de まいんど @ 新店舗のご案内

どんまいクラブ内に新店舗が OPEN します！！店名は“あとりえ de まいんど”に決定！！「こころのあとりえ」という意味で、「まいんど」は並び替えると「どんまい」になります。6月2

8日プレ OPEN、30日 OPEN 予定となっております。それに伴い、新商品の開発もおこなっております！その1つとして、エコアートハガキを制作中です。このエコアートハガキは、従来作っていたエコハガキに、ほのぼののカレンダーでおなじみのたけしさんやおおくらひとみさんのイラストを載せて販売する予定です。また一筆箋も制作中です。大切なあの人へ、オリジナルのエコアートハガキや一筆箋で心を込めて大切な思いを伝えてみませんか？きっときっと、喜んでくれるはずですよ！！

オリジナル商品の他、選びぬいた作家さんの小物・置物や、エコ商品、自然商品などを取り揃えておりますので、乞うご期待くださいませ！ご来店をお待ちしております。



エコアートハガキのご注文を早速いただきました！

(株)コヴァエステートさんと、挨拶状用エコアートハガキを作成させて頂きました。今回は「くじらと虹」というテーマでご注文をいただき、オリジナルデザインです。いかがでしょうか？左記の写真のように、非常に可愛らしく仕上がりました♪

また(有)ラポールさんとは、ビジネスマッチングフェアというイベントで出会いました。パンフレットに掲



載されていたカレンダーに目を留めていただいたことをきっかけに、エコアートハガキをご購入いただきました。「ラポール de 華夢」というカフェにて、エコアートハガキを展示・販売していただいております。おいしいケーキを買いに行く際には、一緒にぜひエコアートハガキをどうぞ。



@イラストを描いてくださっているたけしさんからひとこと♪



イラスト関係を担当させていただいているたけしと申します。カレンダーなど、とても好評で、うれしく、そしてありがたく思っています。

好きで描いた作品たちが、このような形で皆様に見ていただける機会を与えてもらい、幸せなやつだなあと、自分で思います。

これからも楽しくユーモアのある絵を描き続けていきたいと思っています。



@河合さんインタビュー

どんまいハウス・こだちにて生活されていた河合さんが一人暮らしに挑戦することになりました！

おめでとうございます！！どんまいハウス初の自立を祝して、特集を組んでみました。

CHに入った時の不安、嬉しかった事、悲しかった事、これからの目標 etc…是非ご覧ください！！

●どんまいハウス・こだちに入居するまではなにをしていましたか？

A. 仕事につかず、日本全国放浪生活3年半、悪いこともしながらなんとか生活してました。その後、体調が悪くなり真光園で2年半入院しました。

●それでは入院生活から、急にCHに来る形になり不安はなかったのですか？

A. 不安はなかったですね。病院での生活も1年半くらいですっかり慣れたので、他でもやっていけるんじゃないかって。コミュニケーションも病室が6人部屋で慣れてたし、洗濯とかも自分でしてましたから。CH自体は出来ないところは助けてくれると聞いたから、病院に近い状態で生活に入っていけると考えていました。

●そう考えていても、考えていた形と違うことも多いと思うんです。なのでCHこだちに来て良い事も悪い事もいっぱいあったと思うんですが、どんな事がありました？

A. そうですねー。一番嬉しかったのは、フジグランに買い物へ行ける事！自由に街にでて買い物ができる。病院は同伴者はいるし行き先を伝えないといけない。他にも友達ができた、ケアホームの仲間！食事が美味しいし、休みの日にゆっくりできる。とにかく自由に行動出来る事がなにより嬉しい！！

●なるほど、それでは今までの事をふまえると一人暮らしにするにあたって、不安があるかなと感じるんですが。もし良かったら教えてくださいませんか？

A. やっぱり地域の人と仲良くやっていけるか不安。まだ隣に真光園のかたが入居しているのでまだやりやすいのはやりやすいですね。

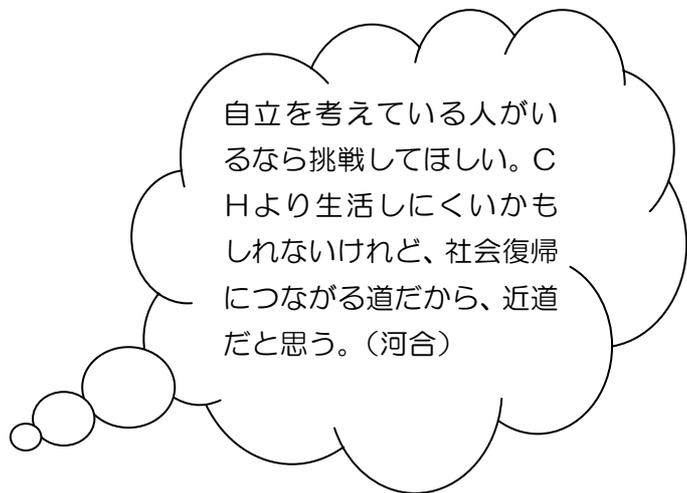
●それでは一人暮らしができるようになり、新たな目標があるとおもいますが、どうですか？

A. 旅行に行けたらいいなあ。四国一周したい。それに伴ってお金もいるので、仕事に就きたい。

●次は放浪ではなく、きちっとした旅でいいですね。では最後に仲間になにか一言あればお願いします。

A. 自分につづけとは言わないけれど、考えている人がいるなら挑戦してほしい。CHより生活しにくいかもしれないけれど、社会復帰につながる道だから、近道だと思う。

河合さん、どうもありがとうございました。会う機会も少なくなるがこれからもよろしくお願いします。



@まんでん企画

どんまいに新たにまんでん企画という事業をH19・7月に立ち上げました。ん？まんでんってなに？と思う方も多いと思います。まんはマンションの「まん」。てんは点検の「てん」。かつ二つ合わせて満点笑顔や花丸満点のまんでんだという素敵なネーミングでまんでん企画です。

事業所としてはマンション管理会社さんと定期点検清掃委託契約を結び、その作業を作業所、地域活動支援センター等に提供する。いわば、仕事をコーディネートする事業所だと認識していただければ、わかりやすいかと思います。

現在、仕事のコーディネート依頼を受けているのは当法人の『どんまいクラブ』と『ゆっくりクラブ』ですが、NPO法人ほっとねっとさんの新作業所『口笛』からまんでん企画にコーディネートの依頼がありました！今、口笛のスタッフさんがどんまい、ゆっくりに作業所実習に来られています。こうして各作業所と連携をとりながらできるのもまんでん企画の強みです。

では、やってみてどうなのか、メンバーさんはどう思っているのかと気になる方も多いと思います。担当スタッフに聞いてみた所…初めの内は汚い物件が非常に多く、メンバーさんもしんどいよーといいながら、一生懸命してくれました。いつも休まれる方もこの仕事だけは行かねばならぬと、意気込みを見せてくれたり、掃除をする事で、「俺、ポイ捨てしなくなったよ。ポイ捨てされたのを掃除するのがどれだけ大変かよく分かった。」と予想していなかった反応まで返ってきました。また、まんでん企画を始めてから工賃が非常に高くなり、しんどいけれどもすごいやりがいがあるからいい、就職に近い仕事できて嬉しいといった声があがり、メンバー、スタッフ共々やって良かったなとつくづく思います。そして今では、メンバーさんも慣れ、またマンションの清掃も綺麗さを保持できるようになりました。と教えてくれました。

ではメンバーさんは、やってみてどんな感じなんだろう、どんな事を思っているのだろうと思うかたは、最後のページにHPアドレスを記載していますので、そこから【どんまい、ゆっくりやってます】のブログへアクセス！まんでん日記という記事でメンバーさんがリレーブログ中です！メンバーさんだけで書いているので、雰囲気非常に伝わりやすいと思います。是非、アクセスしてみてください。

そしてブログを読んで雰囲気が伝わり、これから作業に取り入れようかなと考えている作業所の方がおられましたら、喜んでコーディネート致します。いつでもご連絡下さい。よろしくお願いいたします。



@新人さんいらっしゃ〜い♪♪

2008年4月1日、2名の新スタッフがどんまいの一員になりました！！偶然にも、2人とも上浮穴郡出身の田舎者です。みなさまに私たち2人のことをより知っていただけるように、この場をお借りして自己紹介させていただきます。今回は、3つのテーマです。

1. この仕事を選んだ理由は？またどうしてどんまいを選んだ？

私の家は門限 4：30。それに間に合う遊び場は隣接する老人ホームだけでした。こんな環境に育ち、進学する高校は、福祉を学べる所に決めていました。しかし親は大反対。毎日が喧嘩。そこで助けてくれたのが中学3年時の担任でした。私は進学し、卒業後も先生とは連絡を取りあっています。高校2年のある日、その先生から手紙が届きました。「実は私には統合失調症の弟がいるんですよ」と。それまで弟の存在を否定し続けてきた先生の気持ち。偏見と闘ってきた家族の苦悩を知りました。この時に私は初めて精神障害を知り、疑問を抱きました。身体・知的障害は学校で学ぶのに、なぜ精神障害は教えてくれないのか。この仕事を選びきっかけとなりました。どんまいを選んだきっかけは、「地域と病院とのパイプ役になりたい」と意気込んでいたとき、理事長と出会いました。何度かお会いし、理事長の考えや、障害を抱えた方が地域で生活するための資源がほとんど整備されていないことを改めて知りました。そして理事長がこれからやっていこうとしているプランに魅力を感じ、話を聞くだけでもワクワクしました。それから何度かボランティアをさせて頂き、NPO 法人どんまいで経験を積み、まずは地域で勉強していこうと決めました。



小倉千幸
ゆっくりクラブ所属

2. 実際に仕事をしてみて？

私は思いついたら即行動、考えるより先に行動する迷惑な性格です。学生の頃は、それで通っていましたが、周りにたっぷり迷惑をかけてから、社会人はそうはいかないことに気づきました。目の前に見えるものだけを変えようとするのではなく、その背景にも目を向け、時間をかけて落ち着いて行動することが大切だと学びました。

3. これからは？

「無いから諦めるんじゃなく、無いなら作っていく努力をする、逞しい奴になる！！」というのが私の目標です。まずはメンバーさんやスタッフの方に信頼され認められるような人間になりたいと思います。

1. この仕事を選んだ理由は？またどうしてどんまいを選んだ？

私の場合は、家族の影響が強く、介護福祉士である兄の姿を見て福祉の世界に興味を持ち、作業療法士である姉の姿を見て精神の分野に興味を持ちました。最初は作業療法士になりたいと思っていたのですが、姉の「精神障害を持つ方に出来ることは、医療の立場からでは限られている」という言葉を聞いて、私は福祉の立場から関わってみたいと思い、精神保健福祉士になりたいと考えました。病院への就職を考えていましたが、NPO 法人どんまいからの求人が出ていることを知り、できるなら松山で就職したいと思っていたので、就職試験の面接を受けさせていただきました。

2. 実際に仕事をしてみて？

まだまだ戸惑いばかりで、あっという間に一日が過ぎていきます。メンバーさんの思っていることや様子などをうまく感じ取れず、悩む日々です。しかし戸惑いの反面、メンバーさんにあだ名をつけてもらったり昼食を一緒に食べるなど、楽しいこともたくさんあります。人生の先輩である皆さんに、多くのことを学ばせていただきながら、あわただしい生活を送っています。

3. これからは？

まずはメンバーさんとのコミュニケーションを多くとり、信頼関係を築いていきたいです。以前からいらっしゃるスタッフの方のように、メンバーさんがしんどいときや困ったときには相談してもらえ、楽しいことや悩みをともに感じていけるような存在になっていければ…と思っています。またするべきことを後回しにせず、先輩方の言葉を真摯に受け止めて、一生懸命がんばっていきたいと思います。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



田野陽子
どんまいクラブ所属

平成19年度は、愛媛新聞から何回も取材を受ける機会がありました。こうしていろんな機関の方にご協力をいただいてNPO法人どんまいが成り立ってます！

数ある新聞記事の中から抜粋して、どんまいの新聞記事を紹介します。見逃した人は是非。見た人は懲りずに再度見てください。

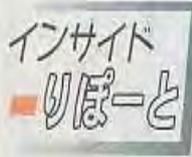
難しい「社会的入院」解消

精神障害者受け皿なく

社会に受け皿がなかったため、精神障害者通院できない「社会的入院」の患者が全国に約七千人いる(厚生労働省調べ)。県内には約九百人おり、県は二〇一二年までに全員の地域生活移行を目指している。しかしケアホームなど受け皿となる施設が少なく、難航するのは必至だ。

精神科病棟に長期入院し、生活移行には困難を抱える患者が中心。一九六〇年代から七〇年代、精神科病棟の増設で病棟収容主義が浸透した影響が大きい。入院治療の必要はなくなったが、病棟や病室が狭く受け皿も無いため退院できないという。長期入院の弊害で社会生活を営むスキルも失っており、退院への意欲育成や退院後のフォローも難しい。

県内最大の精神科病院、松山記念病院(松山市美浜一丁目七番四十三号)には現在、約百五十人の社会的入院患者がいる。平均入院期間は約二十



根強い偏見 長い隔離 失う生活力

地域の理解・連携必要



入院期間20年を超える患者が多い松山記念病院の病棟。社会的入院の解消が急務になっている。

松山市で三つのケアホームを運営する特定非営利活動法人(NPO法人)「どんまい」が、退院患者の受け皿として、地域との連携を深め、連携して支えていく必要がある。「どんまい」の谷本主任理事長谷本は「長期入院患者が退院するには医療機関や行政、家族、地域が理解を深め、連携して支えていく必要がある」と強調。今年度にも、退院患者の受け皿となる施設を確保する予定だが、定員

どんまいクラブとゆっくりクラブのメンバーら



共生願うカレンダー

ワイドえひめ

WIDE EHIME

「障害のある人もない人も共に生きよ」と、特定非営利活動法人(NPO)の法人「どんまい」が運営する松山市の精神障害者作業所「どんまい工房」の「ゆっくりクラブ」が企画した「ゆっくりカレンダー」を制作した。イラストやデザインは同市在住のアーティスト三人がボランティアで協力した。

カレンダーは、松山市の障害者作業所「どんまい工房」が企画した。イラストやデザインは同市在住のアーティスト三人がボランティアで協力した。



「ゆっくりカレンダー」は、松山市の障害者作業所「どんまい工房」が企画した。イラストやデザインは同市在住のアーティスト三人がボランティアで協力した。

「ゆっくりカレンダー」は、松山市の障害者作業所「どんまい工房」が企画した。イラストやデザインは同市在住のアーティスト三人がボランティアで協力した。

問い合わせ、申し込みは同法人に携帯電話090-474088801。

解く 追う

精神障害者ケアホーム「こだち」の1年

松山

「こだち」が掲げた、私たちが精神障害者生活をしていくべき方向は、松山市内の精神科病院に長期入院していた社会的入院患者が地域で生活するための受け皿として、精神障害者生活支援法人（NPO法人）が昨年四月に開所した精神障害者ケアホーム「こだち」だ。この「こだち」は松山市東山町、入居者数は現在4名、このうち「こだち」の表向きは、白川を隔てた、二〇〇七の一年の取り組みを通じて、社会的入院の解消を実現した人数が、関係者の奮闘の甲斐をたどっている。

社会的入院とは、一九六〇、七〇以上の長期入院を強いられてきた年代で精神障害者の隔離・収容、中には入居が半世紀に及ぶ者がいる。現在も長期入院者が約一〇〇名ある。地域での受け皿が求められ、現在も長期入院者が約一〇〇名ある。地域での受け皿が求められ、現在も長期入院者が約一〇〇名ある。地域での受け皿が求められ、現在も長期入院者が約一〇〇名ある。

地域で生活「自立」進む

地域生活が進んだことを受けては現在、七人の社会的入院患者が、白川で生活を始め、入院施設には求められなくなった。責任が分かれ、介護、医療、生活支援、長期入院で生活する人々のサポートが減少し、その一方で生活が受け皿としてある。二〇〇七年十二月、五年間の入院生活を受け止めた関係者は、「自分自身の身の回りのお金をするのには大変だけれど、社会で生活する方がずっといい」と話す。

体制整え長期入院解消を



精神科病院を退院し、地域で自立生活するこだちの入居者。社会で自由に生きる喜びを実感している。3月、松山市愛光町

収入減と増え、患者の増加がもたらした。松山市は、このままでは長期入院の解消は難しいと判断し、体制を整える必要がある。松山市は、このままでは長期入院の解消は難しいと判断し、体制を整える必要がある。松山市は、このままでは長期入院の解消は難しいと判断し、体制を整える必要がある。

「こだち」の運営には、関係者の協力が必要だ。関係者の協力が必要だ。関係者の協力が必要だ。関係者の協力が必要だ。

松山市 安藤 聡

- ① インサイドりぼーと 難しい「社会的入院」解消 記事 07.1126
- ② 2008 共生願うカレンダー愛媛新聞記事 07.12.1
- ③ えひめニュースウェブ 障害者ケアホーム「こだちの一年」08.4.6

<http://npo-donmai.web.infoseek.co.jp/main.html>

HPの「すくらっぷブック」で紹介しています。そちらが読みやすいと思いますので、ぜひどうぞ。

NPO 法人どんまい社員名簿

H20.4.1 現在

	氏名	役職	勤務先	
1	谷本圭吾	理事長	(医)味酒心療内科	精神保健福祉士
2	栗栖公明	理事	(医)味酒心療内科	事務長
3	中井一成	理事	中井ホーム	不動産、建築会社経営
4	上西光宣	監事	(有)ベターライフ	介護保険事業所経営 (介護保険・グループホーム)
5	山内義雄	社員	山起会ライフサプライ	介護保険事業所経営 (介護保険・在宅、デイサービス)
6	大坪廣子	社員	大坪司法書士事務所	司法書士
7	多賀達夫	社員	多賀住宅設備	家電、住宅設備会社経営 (電器店・バリアフリーリフォーム等)
8	武崎美弥子	社員	(医)味酒心療内科	精神保健福祉士
9	丸田一郎	社員	真光園	精神保健福祉士 (社)きらりの森理事 NPO法人ほっとねっと理事
10	笠陽一郎	社員	(医)味酒心療内科	精神科医
11	村上佳子	社員	愛媛医療福祉専門学校	教員 (精神保健福祉士養成コース等)
12	徳永佳勝	社員	社会福祉法人南風会	精神保健福祉士 (社)南風会理事 ハートピアみなみ施設長
13	旭修司	社員	(医)味酒心療内科	精神科医
14	本田秀明	社員	ホンダ社労士事務所	社会保険労務士 まつやまNPOサポートセンター
15	西岡彩	社員	久米病院	精神保健福祉士
16	石丸裕司	社員	石丸税理士事務所	税理士

H20 年度 第7回総会

日時:5月24日(土)13:30～ 場所:愛媛県女性総合センター 3F 研修室

議事:H19年度事業報告・決算報告

H20年度事業計画(案)・予算(案)審議

* 本町新施設見学会(どんまいクラブ、法人事務所)

H19年度法人活動報告

- 4/1 ケアホームどんまいハウス・こだち、いずみ
小規模作業所ゆっくりクラブ 正式利用スタート
- 4/17 NPO法人ぽっかぽか1周年記念大会基調講演（理事長）
- 4/19 愛媛医療福祉専門学校 精神保健福祉士コース講演（理事長）
- 5/19 第6回理事会開催
- 5/23 H19年度通常総会開催
- 6/11 社会保険説明会出席（本田）
- 6/28 松山東雲女子大学 講義 NPO法人について（理事長）
- 7/7 松山市社会復帰推進連絡会議出席（理事長）
- 7/10 第1回精神保健福祉支援連絡会（松山市総合福祉センター）
- 8/10 愛媛県人権サマーセミナー講義（理事長）
- 8/18・19 作業所セミナー研修会（宇和島）（スタッフ2名出張）
- 8/25 どんまい夕涼み会（奥道後山頂ビアレストラン）・参加61名
- 8/28 聖カタリナ大学実習生1名受け入れ（～9/4）
- 8/29 愛媛県指定障害者サービス事業所集団指導（理事長）
- 9/2 まつやまNPOまつり出店、ロビー展示（法連会）参加
- 9/7 松山市社会復帰推進連絡会議出席（理事長）
- 9/11 第2回精神保健福祉支援連絡会（松山市総合福祉センター）
- 9/14 ゆっくりクラブカラーコピー機贈呈式（伊予銀行福祉財団）
- 9/15 作業所セミナー研修会（宇和島）（スタッフ2名出張）
- 9/28 法人連絡協議会出席（理事長）
- 10/1 新規職員採用試験
- 10/28 聖カタリナ大学大学祭出店参加
- 11/3 真光園バザー出店参加
- 11/4 松山東雲大学大学祭出店参加
- 11/10 精神保健福祉大会参加
- 11/13 法人連絡協議会出席（理事長）
- 11/14 第3回精神保健福祉支援連絡会（松山市総合福祉センター）
- 11/26 愛媛新聞“社会的入院”関連記事掲載
- 11/30 愛媛医療福祉専門学校実習担当者会議出席（理事長）
- 12/1 愛媛新聞“共生願うカレンダー”記事掲載
- 2/1 きらりの森内覧会式典出席（理事長）
- 12/2 ねっこの会チャリティーコンサート出店参加
- 12/18 聖カタリナ大学実習連絡会出席（理事長）
- 1/9 第4回精神保健福祉支援連絡会（松山市総合福祉センター）
- 2/15・16 あみ四国ブロック研修会参加（於徳島）（理事長スタッフ6名）
- 2/20 地域活動支援センターどんまいクラブ本町ビルに移転
- 2/21 あいしんビジネスマッチングフェア展示参加
- 3/5 第5回精神保健福祉支援連絡会（含 新どんまいクラブ見学会）
- 3/11 法人連絡協議会出席（理事長）
- 3/15・16 こころの健康フォーラム出店参加、きらりの森見学会担当
- 3/27 愛媛新聞ケアホームどんまいハウス・こだち取材

平成19年度事業報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

NPO 法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

精神障害者の社会参加促進を目指し、生活を取り戻すための活動の場、相談・サポートをできる場等を充実させていくとともに、地域住民等に対して精神障害者への理解を啓発することにより、精神障害者の福祉を向上、発展させることを目的とし、法人をスタートしてから2年目の年度です。

4月1日から障害者ケアホーム“どんまいハウス”として、今まで運営してきたこもれびに加え、地域で単身生活を送っていたが生活介護が必要になった人を対象にしたいずみ、精神病院での社会的入院を余儀なくされている人の退院促進を目的としたこだちという、目的を定めた3施設の運営を行ってきました。

また4月1日から、地域活動支援センターⅡ型“どんまいクラブ”に加え、小規模作業所として“ゆっくりクラブ”を自主運営にて運営をスタートしました。H19年度の実績をもとにH20年度は補助金対象の施設になります。

7月には、“まんてん企画”の事業を開始しました。企業の仕事を作業所で計画的、安定的に高収入が得られるよう、コーディネートする事業で、今年度は、当法人の2作業所に対し、マンション定期点検清掃の業務を提供しています。

また松山市の医療機関、行政機関（県、市）精神関係の活動をしている法人にお集まりいただき、2カ月に一度（奇数月）精神保健福祉支援連絡会を開催しています。この会では法人の事業に活動報告とともに、幅広い意見交換の場として重要な場となっています。

精神保健福祉に関する教育、啓発活動、社会的入院の方の退院促進を進めるための活動として、法人としての講演活動、新聞等からの取材は積極的にうけてきました。

また行政、各機関からの理解、協力を得る必要があることから、民生委員、生活福祉課担当者、権利擁護事業担当者等への協力依頼、調整、意見交換などを進めました。地域の自治会主催の会などにも法人としてスタッフが出席し、交流を深めました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数	支出額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム)	4月1日～ 3月31日	松山市内	8名	松山市内の 精神障害者 18名	26,168
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	地域活動支援センターⅡ型の運営 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の 精神障害者 約30名	13,962
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	精神障害者 小規模作業所の運営 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の 精神障害者 約15名	3,021
障害者の地域生活支援に関する事業	まんてん企画	7月1日 ～3月31日	松山市内	1名	松山市内の 精神障害者 30名	481

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活介護事業、地域活動支援センター、障害者小規模作業所の経営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活介護事業（ケアホーム）においては、現在、受け皿がなく、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院をすすめていくため退院後の生活のサポートができる施設、現在一人暮らしをしているが、共同生活による介護の必要性が出てきた人たちのための施設など特徴を持たせた3施設、“ケアホームどんまいハウス”（こだち、いずみ、こもれび）の事業を運営していますが、社会的使命として、長期の社会的入院の人の退院促進を進めるため、ケアホーム3施設の増設を進めます。
- ② 生活援助を必要とする方のために、日中活動の場の整備も不可欠となります。精神障害者地域活動支援センター“どんまいクラブ”では、作業やレクリエーションでの役割分担などを通し、やすらぎや達成感を感じながら、次の目標を迎えるよう、援助、指導を行います。就労援助・社会適応訓練などについても計画を進め、通所者のレベルにあわせたニーズに答えられるよう、事業を展開していく予定です。
- ③ 病院を退院した方のための日中活動の場として新設した小規模作業所“ゆっくりクラブ”の運営を通し、地域活動支援センターとは違った角度から、地域で生活を総合的に支援します。作業を通し社会とのつながりを作っていきます。仲間作り、生甲斐作りを支援します。
- ④ 日中活動の場が希薄な地域に小規模作業所の開設を予定します。
- ⑤ その他の事業として、まんてん企画では作業所と一般企業を結ぶコーディネート事業を進めます。作業所の社会参加を進め、企業での仕事のパートナーとしての立場を形成していく手助けができればと考えています。
- ⑥ 事業を進めていくためには、その事業に携わる人の育成も不可欠です。各事業所との交流会・勉強会なども企画し、研鑽に努めます。精神障害者に対する地域生活支援を進める中で市民の理解も不可欠です。各バザー・イベント・交流会などに利用者ともども積極的に参加して、市民との交流を深め、その理解を推進します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム) どんまいハウス	通年	松山市内	11名	松山市内の精神障害者30名	33,940
障害者自立支援法に基づく地域活動支援センターの経営	地域活動支援センター どんまいクラブ	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害者約35名	13,499
障害者の地域生活支援に関する事業	精神障害者小規模作業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	4名	松山市内の精神障害者20名	8,401
障害者の地域生活支援に関する事業	精神障害者小規模作業所 設立運営	11月	松山市内	1名	松山市内の精神障害者10名	800
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	まんてん企画 企業と作業所を結ぶ 作業内容コーディネート	通年	松山市内	1名	松山市内の精神障害者50名	1,200
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	他事業所との交流会、 勉強会など	通年	松山市内			0

組織図 (H20年4月1日現在)

NPO法人どんまい

社員16名 (理事3名)

賛助会員約100名

理事会 (3名)

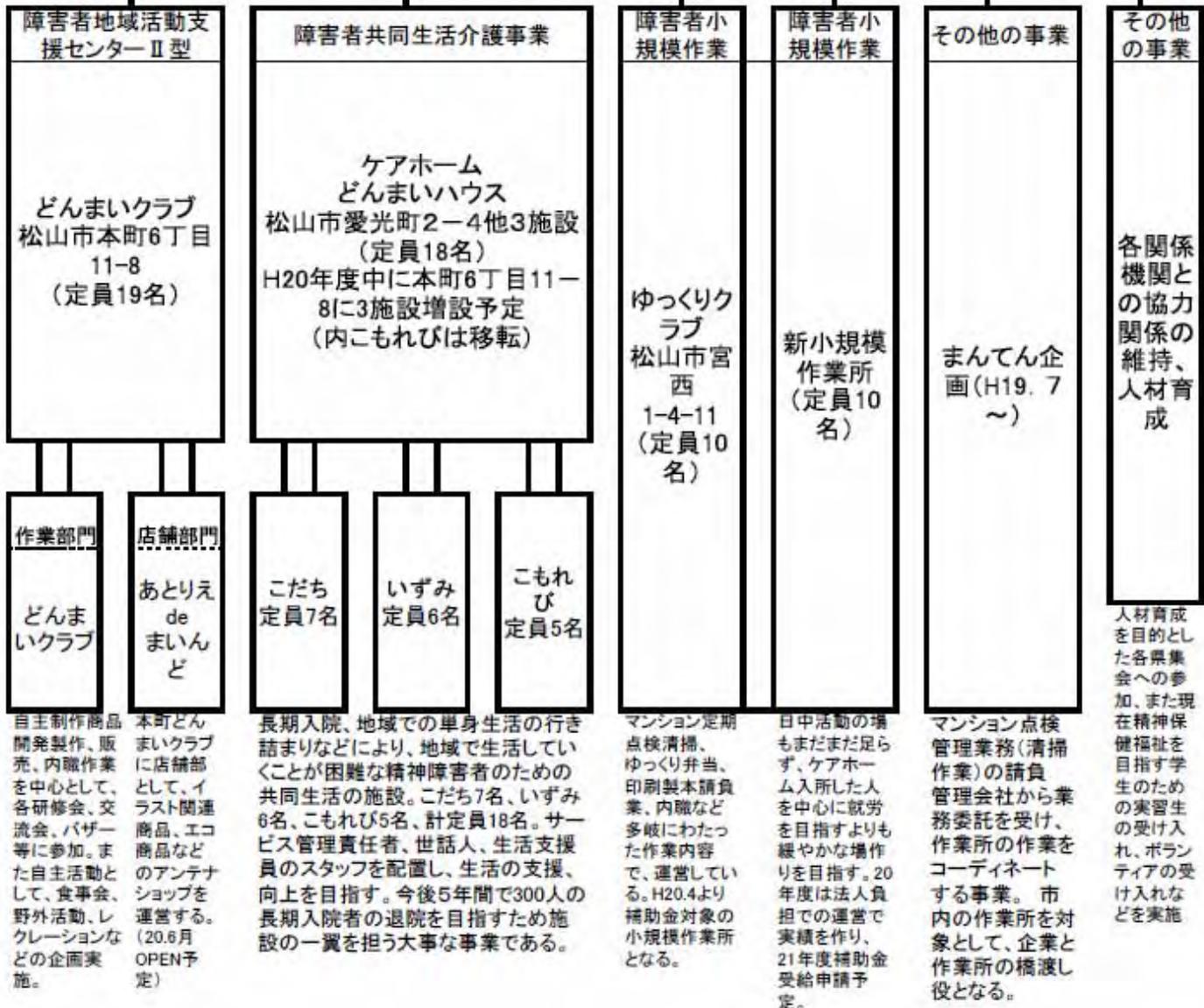
必要に応じ随時開催。事業運営・法人人事・職員サポート・事業新設等重要事項の審議・決定

社員総会 (16名)

年1回開催 一年間事業・決算報告。事業計画予算案の審議承認他、重要事項の審議

精神保健福祉支援連絡会議

愛媛県、松山市の各関係機関、医療機関担当者、利用者スタッフの参加にて、各事業所の事業方針、問題点解決などの検討意見調整協力関係を維持し、松山市の障害者生活支援のネットワーク作りを目指す。(1回/2ヶ月予定)



編集後記

こんにちは、今回の編集長左古です。今回はスタッフも増加し、どんまい便りも2人で行う事ができました。以前は1人で行い本当に大変だったのが嘘の様です。そして今年もまたどんまいは施設も増設します。落ち着く事もなかなか難しい状況ですが、やはり、私達がやっている活動を皆に知ってもらいたいという想いから、どんまい便りを作っています。色んな想いを込めて記事を作りました。その想いがごくわずかでも読んでいただいた皆様に伝われば、これ以上の幸せは御座いません。最後になりますが、協力いただいている皆様にあつくお礼を申し上げます。こうした活動をできるのも皆様が賛同してくれているおかげです。本当にありがとうございました！

SAKO

今回編集長の助手を務めさせていただきました田野です。慣れない作業に悪戦苦闘しましたが、なんとか完成までたどり着くことができました。まだまだ新米で未熟者の私ですが、このどんまい便りを読んでくださった方に、何か一つでも伝われば・・・と思いながら作成いたしました。至らない点もあるかとは思いますが、読んでいただけたらと思います。皆様のご協力のもと、このような活動ができますことを、心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

TANO

どんまいのHPを開設しています。皆様に読んでいただけるよう、がんばって更新していきたいと思えます！

是非お気に入りに入れて下さい。どうぞよろしくお願い致します！！

<http://npo-donmai.web.infoseek.co.jp>

NPO法人どんまいHPへどうぞ！！

どんまいの活動報告、どんまいクラブの商品紹介や、[きょうの晩めし\(OH ブログ\)](#) [ゆっくりやっています\(作業所ブログ\)](#) [未だ不完全燃焼\(理事長K5君のブログ\)](#) など、盛りだくさん！！ちょっとのぞいてみてください。



どんまいクラブにステップワゴンがやってきました！記念の一枚♪ (どんまいクラブ前にて)